



広島県公立大学法人

叡啓大学

資料提供

令和8年7月14日

所属：広島県公立大学法人

叡啓大学事務部

担当者：細川

連絡先：082-225-6201

【7月16日開催】株式会社サタケ所属のウガンダ出身卒業生が初めて登壇

～英語による起業家精神教育で「グローバルキャリア」と「社会課題解決」を学ぶ特別講義を開催～

叡啓大学（学長 ありのぶむつひろ 有信睦弘、広島市中区）は、2026年7月16日（木）に開講する英語によるリベラルアーツ科目 Industry and Business Model(English)の講義において、本学を2025年3月に卒業したウガンダ出身の第1期卒業生と、その就職先である食品加工機械メーカーの株式会社サタケの担当者を招いた特別講義を開催します。卒業生が講義にて登壇することは、本学では初めてのことになります。

本講義では、日本企業で働く外国人卒業生のキャリア形成と、日本企業がアフリカ市場で果たす役割について、英語によるディスカッションを交えながら学びます。学生は、起業家精神を「起業」に限定せず、社会課題を発見し、多様な主体と協働しながら価値を創出する姿勢として理解する機会となります。

叡啓大学は、今後も産学官連携を通じて地域の活性化に寄与するとともに、社会に貢献できる人材の育成に取り組んでまいります。ぜひご取材ください。

1 日程／会場

2026年7月16日（木）9:00～10:30

会場：広島県公立大学法人 叡啓大学 講義室401、402（〒730-0016 広島市中区幟町1-5）

2 参加企業

会社名	講義テーマ
株式会社サタケ	「食と農業の課題を技術で解決する — サタケの挑戦とイノベーションの歴史」 創業以来130年にわたりサタケが取り組んできた技術開発の歴史を紹介するとともに、米粉・精米体験を通じて、社会課題の解決を支えるものづくりの意義とイノベーションの重要性について学ぶ。

3 講師プロフィール

DDEMBE Francis（デンベ・フランシス）氏

株式会社サタケ 技術本部 グローバル商品企画室

2025年入社

ウガンダ出身。叡啓大学の第1期卒業生として2025年3月に卒業後、株式会社サタケに入社。

学生時代から食料問題や農業分野に高い関心を持ち、グローバルな視点で社会課題の解決に取り組んできた。入社後は社内外のさまざまな研修や

実習に積極的に参加し、誠実な姿勢と高いコミュニケーション力により、多くの関係者から



高評価を得ている。

現在は技術本部グローバル商品企画室に所属し、海外市場向け製品の企画・提案業務に従事。同社技術者とともにタイおよびインドへも出張し、現地顧客との意見交換や市場調査を通じて、グローバルビジネスの最前線で活躍している。

将来は、日本とアフリカをつなぐ架け橋として、食と農業の発展に貢献することを目指している。

取材をご希望の方は、お電話又はメールで
ご連絡ください

叡啓大学広報担当(日浦・有馬)

TEL:080-9208-0466